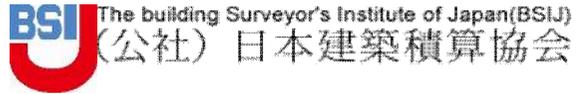


【自己申請のやり方】

メイン画面



コストがわかれば 建築が見える！

サイトマップ



協会の紹介



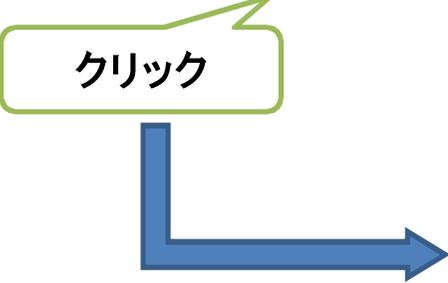
CPDについて



RICS入会等



積女ASSAL



一覧が表示
自己申請のやり方を
クリック

CPD (継続職能開発)の推進	
CPDについて	本会が実施しているCDP制度(継続的職能教育制度)についての解説
既登録者の屏	BSIJ-CPD参加者が自主研修等の申請をする場合の入口
新規登録者の屏	新たにBSIJ-CPDに参加する場合の入口
操作マニュアル(参加者用)	操作方法の解説 操作マニュアル(PDF)がダウンロードできます。※PDF形式
CPD制度規定	※PDF形式
※規定改定の概要	※PDF形式
CPD制度実施細則	※PDF形式
プロバイダーの屏	BSIJ-CPD参加プロバイダーがプログラム登録を行う場合の入口
操作マニュアル(プロバイダー用)	操作方法の解説操作マニュアルがダウンロードできます。 ※PDF形式
BSIJ-CPDの分類と単位	旧規定(~平成24年3月31日) 新規定(平成24年4月1日~)
自己申請のやり方	※PDF形式
自己申請・実務実績申請におけるお願い	※PDF形式
取得単位数/確認方法	※PDF形式
BSIJ-CPDに関するQ&A	※ページリンク
会誌CPD認定記事名一覧表	※PDF形式
BSIJ-CPD単位取得証明書 発行申請書	発行手数料1,000円に消費税相当額を加算したものと共に現金書留で、申請書を当協会にお送り下さい。 ※PDF形式

【BSIJ-CPD情報システム】画面

BSIJ-CPD情報システム

CPD情報システムでご利用いただけるメニューの一覧です。

▶▶▶ 認定プログラム一覧

現在認定されているプログラム情報の一覧はこちらをご覧ください。
建築士会CPDに登録している共通認定プログラムは[こちら](#)をご覧ください。

▶▶▶ システムログイン

既に参加登録されている方はこちらから

(2014-05-27)
参加者の利便を図るため、5月30日よりCPDシステムへのログインは12桁のユーザIDに替わり、**建築コスト管理士・建築積算士及び会員のいずれかの登録番号**でログインする事に変更いたします。また、講習会等の参加につきましても、資格などの登録番号の記載だけとします。

(2012-07-01)
2012年度よりBSIJ-CPDシステムの制度が改正されていますので[協会HPお知らせ](#)でご確認ください

最新ニュース:



ログイン 画面

BSIJ-CPD情報システム 参加者用

CPD情報システムログイン

ログインを行います。
参加には、登録が必要となります。
登録がお済みでない方は、[こちらで参加登録](#)してください。
ログインパスワードを忘れた方は、[こちらで変更](#)してください。

ログインが必要です

登録番号とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

登録番号

建築コスト管理士番号

パスワード

ログイン

(2014-05-27)
参加者の利便を図るため、5月30日よりCPDシステムへのログインは12桁のユーザIDに替わり、**建築コスト管理士・建築積算士及び会員のいずれかの登録番号**でログインする事に変更いたします。また、講習会等の参加につきましても、資格などの登録番号の記載だけとします。

注)

認定されたプログラムは、自己申請する必要はありません。
主催者より出席者名簿が提出され、システム上で処理されます。

クリック

▼をクリック
該当する項目を選択

登録番号入力

- ・建築コスト管理士番号
- ・建築積算士番号
- ・積算協会会員番号

パスワードを入力

ログイン

BSIJ-CPD情報システム 参加者用
ログアウト

ご利用いただけるメニューの一覧です。

共通メニュー

▶▶▶ 認定プログラム一覧

現在認定されているプログラム情報の一覧はこちらをご覧ください。
建築士会CPDに登録している共通認定プログラムは[こちら](#)をご覧ください。

▶▶▶ 登録情報の変更

ログインパスワードの変更はこちらから

BSIJ 用メニュー

▶▶▶ 取得単位数確認

現在、取得している単位数の確認はこちらから認定プログラムによる取得単位数はプロバイダーより出席者名簿が提出されたものに限ります

▶▶▶ 自己申請

自己申請はこちらから協会の認定プログラム(各支部および他団体)は、自己申請の必要がありません。
出席者名簿により確認され単位が自動的に付与されます。
付与されていない場合には、下記にお問合せください。

▶▶▶ 実務実績申請

実務実績申請はこちらから
実務実績の申請は2011年度の実績までです。
以後の年度は廃止されています。



【自己申請】画面

BSIJ-CPD情報システム 参加者用

認定プログラム一覧 取得単位数確認 自己申請 実務実績申請 登録情報の変更 ログアウト

自己申請

自己申請を行います。
申請に際し以下の研修情報を入力してください。

「別表-1BSIJ-CPD分類と単位について」(PDF)の閲覧ができます。
研修年月日が2012年3月31日以前の場合 [旧規定\[~2012年3月31日\]](#)
研修年月日が2012年4月1日以降の場合 [新規定\[2012年4月1日~\]](#)

自己申請基本情報入力

*印の項目は必ず記入のこと。 ※最初に必ず研修年月日を記入してください。

申請年月日 2014年9月9日 ユーザーID XXXXXXXXXX

申請先制度 日本建築積算協会

氏名 XXXXXXXXXX

* 研修年月日
2014年09月05日 17:00~
2014年09月05日 19:00迄

* 形態
 [04] 講演会・シンポジウム
該当するものを選択してください。その際は、[番号]で始まる説明を選択します。
 企業内研修会である 企業内研修会ではない

* 分野
 [06] 空調
該当するものを選択してください。その際は、[番号]で始まる説明を選択します。

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。 記入する際の注意事項

* プログラム名

* 主催

* 内容
(10文字以上30文字以内)

* 修得した内容
(10文字以上180文字以内)

* 研修時間 .0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求める場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

申請を終了し、トップページへ戻ります。

自己申請共通事項

1. 申請先制度欄をクリックをつける。
2. 研修年月日を設定する。
3. 形態の選定
右端をクリックして該当項目を選定
※番号付を選ぶ
4. 分野の選定
右端をクリックして該当項目を選定
※番号付を選ぶ
6. 主催
主催者名は正確に、**略称名は不可**
7. 内容
どのような内容か具体的に
8. 習得した内容
研修・購読で得たものを具体的に
9. 研修時間
上記2.との整合性を確認する。
注) 午前から午後にもたがる研修の場合昼の休憩時間は除く。

「建築と積算」の認定記事を申請する場合

10. プログラム名欄

何年何月号(例:2016年新春号)
正確な認定記事名(全文)

承認必須事項
11. 主催者は(公社)日本建築積算協会
12. 研修時間は1時間
取得単位:1単位/1記事
注) 同一記事の再申請は不可

自己申請確認 画面

BSIJ-CPD情報システム

参加者用

認定プログラム一覧 取得単位数確認 自己申請 実務実績申請 登録情報の変更 ログアウト

自己申請

自己申請の内容の確認を行います。
入力情報に誤りが無いか確認してください。
誤りがある場合はこのページ下部にある「戻る」ボタンをクリックして入力画面にお戻り下さい。
* WEBブラウザの「戻る」ボタンで入力画面にお戻り頂いた場合は正常に申請が出来ません。

自己申請情報確認

申請年月日	2014年9月9日	ユーザーID	■■■■■■■■■■
申請先制度	[日本建築積算協会]		
氏名	■■■■■■■■■■		
研修年月日	2014年09月05日 17:00～ 2014年09月05日 19:00迄		
形態	講演会・シンポジウム 企業内研修会ではない		
分野	空調		

自己申請内容

プログラム名	理想的な空調システム
主催	ABC設備協会
内容	理想的な空調システム

(10文字以上30文字以内)

修得した内容	建築物の用途・規模は種々雑多である。
(10文字以上)	如何に機能を高めコストを押さえるかについて
180文字以内)	大変有意義なシンポジウムであった。

研修時間 2 時間

[← 戻る](#) [➡ 申請する](#)

自己申請基本情報入力ページへ戻ります。

注) 入力に間違いがないか確認し申請する